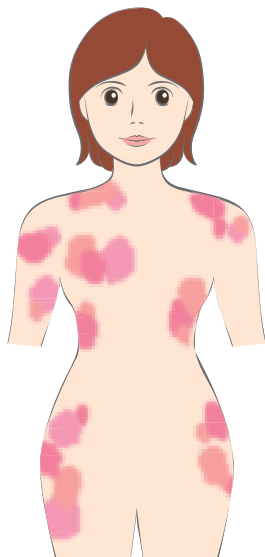


何年も治らない湿疹が気になります 「菌状息肉症」の疑いがあります

立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

菌状息肉症の症状



やや褐色調の湿疹や乾燥肌のような症状が体幹やおしり、手足に出て、長年治らない…このような症状について、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医の立川皮膚科クリニック・伊東秀記院長に聞きました。

「赤みを帯びた湿疹がステロイド外用治療にもかかわらず、何年も治らないときは皮膚リンパ腫の一種で「菌状息肉症」の一種で「菌状息肉症」の疑いがあります。どんな病気ですか？

「皮膚リンパ腫の中でも悪性度の低いT細胞性のリンパ腫と呼ばれるものです。病変部が少なく早期病変の場合、ほとんどの人が安定した状態で10数年かけてゆっくりと進行しますが、一部の人は患部が腫瘍となりリンパ節の腫れ、他臓器への転移がみられることも」

「早期は湿疹と見分けがつかず診断の難しい病気です。皮膚所見、皮膚の組織検査などの検査をして診断を確定します」

「治療方法は？」

「ステロイド剤の外用、紫外線療法を行います。症状が進行した場合は抗がん剤での治療が必要になることもあります。長引く湿疹は一度医師に相談を」

院長:伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分



休診日: 日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け

2016年12月3日付 「リビング多摩」に掲載されました